

## 子育ても復職も、 安心してできる街と職場

[社会福祉法人 光養会]

<http://www.kouyoukai-fujinosato.jp/>



### 想いを汲みとれる職員になりたい

幼い頃に母を亡くし、祖父と祖母に育ててもらいました。高校生のときに祖父が倒れ、老人ホームに入ることに。介護老人保健施設を経て、特別養護老人ホームに入所した祖父から、孫の私はいつも「家に帰りたいや」など、さまざまな想いを聞いていました。でも、その頃の私は、何もできなかったんです。施設に住む人の想いを汲みとり、できることなら叶えられるお手伝いがしたい。そう考えて、生活支援員になろうと決めました。2011年にふじの里へ入職し、現在は相談員として働いています。

### 職場には先輩ママがたくさんいます

今は、育休取得中です。ふじの里の働きやすさを象徴していると思うのですが、産休や育休を取得した職員がとて

も多い。さらにほとんどの職員が復職しています。子どもが生まれるからあきらめようとか考えたこともないですし、むしろ職員の先輩ママから子育てについて教えてもらうことも多く心強いですね。さらに、高島市は子育て支援がとても充実。働くママやパパにやさしい環境が整っていることを、あらためて実感しています。

### やっぱり福祉の仕事が好きなんです

育休期間が終われば、もちろん復職する予定です。今もたまに施設に顔を出したときなど、久々に利用者さまと会えたらやっぱり嬉しいです。先日も利用者さまから「赤ちゃん産まれたんか〜！おめでとう！」とお祝いの言葉をいただいて、ありがたい限りですよ。人対人の仕事なのでもちろん悩むことも。でもそれ以上に笑顔にさせてくれ



社会福祉法人 光養会  
特別養護老人ホーム  
ふじの里  
副主任 生活相談員

前田 有美香さん

社会福祉学部を卒業後、新卒でふじの里へ入職。介護職員として働きはじめて、5年目で生活相談員、そして副主任へ。結婚・出産を経て、現在は夫と子どもと3人で高島市に在住。育休後はふじの里へ復職予定。

るのもまた人であり、利用者さまたちです。プライベートで落ち込んでいるときも、利用者さまの何気ないひと言で悩みが飛んでいくことが実際にあるんです。いい仕事をさせていただいています、本当に。

